

LIB. NET (リブネット) FOR TEENS VOL. 86 夏号

発行日：2019年6月1日 磐田市立中央図書館 ☎0538-32-5254

こんにちは。磐田市立図書館です。みなさんいかがお過ごしですか？
梅雨でジメジメ。この先暑い夏がきたらクラクラしちゃうそう？
でも、自分の好きな本がそばにあれば、気持ちのクールダウンにもなりますよ。



新刊 + 話題の本



QRコードつき。
動画で作り方を
チェックできます。

【外国文学】『夢見る人』 パム・ムニョス・ライアン／作 ピーター・シス／絵 原田 勝／訳
(岩波書店)

【気持ち】『10代のための疲れた心がラクになる本』 長沼 睦雄／著 (誠文堂新光社)

【お菓子】『中学生のためのスイーツの教科書』 おかやま山陽高校製菓科／編 (吉備人出版)

【進路】『化学のしごと図鑑 きみの未来をさがしてみよう』 近畿化学協会／編 (化学同人)

【芸術】『黒板アート甲子園作品集 高校生たちの消えない想い』
日学株式会社／総監修 (日東書院本社)



←これ、写真じゃなくて、黒板に描かれた「絵」です。
チョークだけでここまで描けるとは驚き！

【言葉】『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』 飯間 浩明／著
(ポプラ社)

「やばい」、「がち」、「はんぱない」などの勉強と関係ないことばも国語辞典には結構のっている！国語辞典編さん者にして、ことばを愛する「ことばハンター」の著者が、ことばを観察し、考えることのおもしろさを交えながら、国語辞典をつくる仕事を紹介する。



【小説】『むこう岸』 安田 夏菜／著 (講談社)



有名私立進学校の授業についていけず公立中学校に転校した少年と、父を亡くし生活保護を受けて暮らす少女のストーリー。クラスメイトの二人は、ある日偶然街で出会う。社会の理不尽を知った二人は、希望を捨てず支えあい、しだいに交流を深めていく。未来に向かって挑戦する少年と少女の成長物語。

【小説】『ヴンダーカンマー ここは魅惑の博物館』 榎崎 茜／著 (理論社)

県立博物館に職場体験に行った5人の中学生は、くじ引きで別々の仕事を手伝うことに…。興味なかった世界を垣間見るうちに、5人の関係や物の見方が変わっていきます。博物館の奥の世界の楽しさが感じられる本。



わたしたちの SHIZUOKA



みなさんは静岡県のこと、どのくらい知っていますか？ 今回は静岡県に関する作品をご紹介します。知らなかった新しい情報に出合えるかもしれません。静岡県の魅力を、家族や友達にも伝えてみませんか。

『最弱フットガールズ』

三岡 雅晃／著

(リンダパブリッシャーズ)



代表にも選ばれたことがある元Jリーガー、徳山優太は、ある事件を起こし日本プロサッカー協会を追放される。さらに、ひよんなことから年齢や国籍などがバラバラな最弱女子フットサルチームの監督を引き受け、一年で県内最強を目指すことに。果たして、監督経験ゼロの徳山と最弱女子チームは奇跡を起こせるのか。磐田市出身の著者のエンタメ小説。

『クリック』

佐藤 雅彦／著 (講談社)



佐藤雅彦さんは静岡県の出身。「ピタゴラススイッチ」などのテレビ番組で名前を見ることも多いでしょう。この本の出版は約20年前ですが、今放送中の番組にリンクするものが詰まっています。読んだ瞬間は「？」でも、少し考えたら「なるほど」と思うような、謎解きにも似た短編集。アタマをやわらかくしてどうぞ。

♪ 静岡ものしりBOOKS ♪



『静岡ルール』

都会生活研究プロジェクト
〈静岡チーム〉／著
(KADOKAWA)



『静岡のおきて』

静岡県地位向上委員会／編
(アース・スターエンターテイメント)



『静岡あるある』

鈴木 富士太郎／著
(TOブックス)

『アイ・コンタクト』

中村 和彦／著

(岩波書店)



2009年に開催されたいろいろのオリンピック「デフリンピック」で初の日本代表として闘ったメンバーたちの歩みを追ったドキュメンタリー。磐田市出身の寺井名美さんも紹介。



コミック版
(集英社)

『ひとりずもう』
さくら ももこ／著
(小学館) ©M.S

コミック版は
竜洋図書館に
あります。

さくらももこさんの、思春期から青春時代の自伝的エッセイ。のほほんと楽しい思い出、そしてちよっぴりほろ苦い体験もつづられています。



『自転車でめぐる静岡スケッチ帖』
岩本 陽子／著
(静岡新聞社)

